



# 平成二十六年年度スタート 今年度も「自立と共生」をキーワードに

保護者の方々や地域の皆様のご協力で、春休みも無事故のうちに新年度を迎えることができました。ありがとうございました。

四月一日より新たな顔ぶれでスタートした小野寺南小学校。五日からは、栃木市との合併により栃木市立小野寺南小学校として再スタートとなりました。

まずは転出入職員をお知らせいたします。

## ☆転出・退職職員

- 渡辺 敏子 教頭「野木町立佐川野小へ」
- 増田 美恵子 教諭「大平南小へ」
- 荒川 達城 教諭「静和小へ」
- 倉井 辰也 講師「小山市立城東小へ」
- 苗木 孝典 用務員「地域町づくり課へ」
- 田口 淳子 町事務職員  
「県立足利特別支援学校へ」
- 佐久間 富子 支援員「退職」

## ☆転入職員

- 村井 一郎 教頭「栃木第五小より」
- 天海 敦嗣 教諭「静和小より」
- 珍田 裕子 教諭「大平中央小より」
- 大高 央衣 教諭「静和小より」
- 時田 喜代司 運転手兼用務員  
「岩舟町役場総務課より」
- 渡辺 節子 町事務職員「新任」



平成26年度小野寺南小学校職員です。  
どうぞよろしくお願ひします。

今年度も四十数年の長きにわたり掲げられてきた「あじさい目標」を継承しますが、昨年同様「自立と共生そして自律」をキーワードに、十四名の職員が一丸となって児童の教育と学校運営を行っていきたくと考えています。  
どうか昨年度にも増して温かなご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

校長	櫻井 茂
教頭	村井 一郎
教務主任	生澤 正好
一年担任	珍田 裕子
二年担任	大和田 浩之
三年担任	大高 央衣
四年担任	櫻井 由美子
五年担任	天海 敦嗣
六年担任	宇野 玲子
養護教諭	日向野佳代子
事務長	大竹 郁子
遷番書記	時田 喜代司
図書事務	渡辺 節子
特別支援員	篠崎 光代



八日の新任式では、半分の職員が入れ替わったこともあり、子どもたちはいつにも増してわくわくどきどきの様子でした。

翌九日にはインフルエンザのため欠席した二人を含めて十五名の新入生を迎え、入学式を行いました。児童数六十四名での新年度スタートです。

新入生を迎える六年生の姿、翌日は新入



生を教室に案内し、荷物の整理を見守る登校班班長さんたちの姿。「立場が人を育てる」と言いますが、昨年のこの時期の顔と較べると凛々しい表情になったと感じた新年度のスタートでした。

昨年から言い続けてきた「自立と共生」。子どもたちなりに今自分の立場でどう行動したらよいか、少しずつ考えて行動できるようになりつつあるようです。

主体的に判断し、行動できる子どもたちに育てていきたいと考えています。

### 別れと出会いの季節

弥生三月、卒業生に続き転出職員を見送る別れの季節。

卯月四月、転入職員、それぞれに進級した在校生、そして新入生との出会いの季節。

社会人となってから幾度となく繰り返してきたこの時期の姿だが、今年度は職員の半分が入替わる記録的な人事異動ということもあり、少しばかり不安な船出であった。転入職員を迎えて二週間、共に仕事を進める中で先のお不安はすっかり薄らいできた。それぞれの元上司から太鼓判を押されていたものの、この目で確かめる迄はの思いも杞憂に終わった。

「異動は最大の研修の機会」とは教育界でよく使われる言葉だが、新たな出会いを新たな成長のチャンスとして、職員・児童共々に、今年度一年間での更なる成長を目指したいと考えている。

### 校長のつぶやき

長く厳しかった冬が嘘のように春が駆け足でやってきて、満開の桜のもとでスタートした平成二十六年度。入学式を見届けたかのように校庭の桜は早くも葉桜に姿を変えている。

年度の切り替えのこの時期は、仕事に追われ桜を愛でる余裕はないが、今年度も「自然は急がず、されど怠けず」を信条に、一歩一歩未来を担う人材の育成に努めたいと思う。

